

令和6年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	湯の郷白馬 活性化プロジェクト
事業主体 (連絡先)	一般社団法人白馬村観光局 長野県北安曇郡白馬村北城 7025 番地
事業区分	⑥ 産業振興、雇用拡大に関する事業 (エ 商業の振興)
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,023,722 円 (うち支援金: 675,000 円)

事業内容

白馬村温泉シンポジウムを、白馬の温泉の特色や温泉×スポーツなど温泉から享受できるメリットを学ぶ機会として計画しており、特に村内観光事業者に温泉について深く知ってもらうことを目的に、10月31日(木)13:30~17:00にウイング21ホールにて開催した。参加者は、計87名(会場46名、オンライン41名)で、第一目的の村内観光事業者を始め、全国の温泉愛好家も参加いただいた。第一部では「白馬の温泉の特性と価値」、第二部では「温泉×スポーツ(疲れた体のリカバリー)」、第三部では、2名の講師と村内観光関係者2名にて、パネルディスカッションをし、白馬の温泉の活用方法について深掘りする内容とした。

事業効果

本事業によって、村内観光事業者に白馬村の温泉が国内で稀有な温泉があること、湯巡りに適した地域だということに参加には理解してもらえたと思われ、白馬村観光局や温泉施設以外の宿泊施設などからも常連客や各施設のHPやSNSで宣伝がされるようになることが予想され、またペンション等の温泉のない施設からの温泉施設への送客がなされることを期待したい。

温泉で誘客できるようになれば、スポーツや自然を活かしたアウトドアアクティビティなどの白馬村が今までの来村者層とは全く違う客層が来るようになり、白馬村の目指す通年型のマウンテンリゾートに繋がる。

今後の取り組み

村内の温泉への関心が予想よりも低いことが分かった。宿泊施設オーナーに話をしても、自身の施設に温泉がないとあきらめていることが多かった。

今後は、高評価となったシンポジウムの内容を記事化するなどして、村内観光事業者へ伝えるとともに観光客にも伝わる施策をしていく。また、日帰り入浴施設を紹介することでもお客様満足度は上がることなどを理解してもらう施策も必要となってくる。



【シンポジウム状況】

【目標・ねらい】

- ① 白馬の温泉の特色や価値を村内事業者に広く知ってもらい、温泉による誘客・宣伝促進
- ② 温泉関係者や全国の温泉愛好者に白馬の温泉の知識を深く知ってもらう。

※自己評価【 C 】

【理由】

- ・シンポジウム参加者からの評価は高かった。
- ・目的の村内観光事業者へ知ってもらうには、参加者が少なかった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある